

新宮しんきん世界遺産応援募金会について

新宮信用金庫

「新宮しんきん世界遺産応援募金会」は当金庫役職員約 100 人で組織され、世界遺産に登録された地元熊野の環境保全のため、平成 16 年 9 月に設立されました。以降役職員が毎月募金を続け、毎年 1 回、世界遺産として登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の維持、管理、広報及びボランティア団体等の支援を目的としています。

令和元年度は、各営業店から推薦された団体の候補の中なら、令和 2 年 9 月 30 日（水）下記の団体を選出し金一封を贈呈させていただきました。

勝浦支店推薦団体

「熊野修験」代表世話人 高木 亮英 様

表彰式の様子



表彰者紹介

今年で『熊野修験』再興 33 周年を迎えます。同団体は、高木氏が昭和 63 年に再興したグループです。熊野修験とは、平安時代より、那智の滝や大峯を修行の場として、山伏が山を越え、谷を越えた、熊野修験者の修行の事です。この山伏(修験者)の活躍によって熊野は日本第一霊験所と位置づけられるに至り、熊野信仰を全国に広め、先達として各地の人々を道案内し、辺境の地、熊野へ誘引してくれたものです。現在の観光地、勝浦を全国に広めた原点とも言える功績を山伏が担いました。高木氏は、今日我々がこうして生きていられるのも彼らのおかげ、途絶えさせるわけにはいかないという思いのもと、同グループ活動を継続維持され、熊野信仰を全国へ、後世に広めたいと考えています。

活動は、春から秋にかけて、メンバー、その他参加者による修行(宿行・聖地霊山巡礼など)を行っております。

以上